

ワイヤレスステレオヘッドセット

リファレンスガイド

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。リファレンスガイドおよびクイックスタートガイドをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDR-1RBTK MK2

©2013 Sony Corporation Printed in China

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 電源を切る
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



危険 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因**となります。

付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない

充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

推奨以外のUSB ACアダプターを使わない

USB ACアダプターを用いて充電するときは、必ず推奨のAC-UD20（別売）を使用してください。

火の中に入れてない

分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。



火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない

警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因**となります。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転中は本機および携帯電話を使用しない。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しない。
- 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所ではヘッドセットを使わないでください。
- 歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。



内部に水や異物を入れない

本機は防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。本機につないでいるBLUETOOTH機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。

通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

かゆみなど違和感があったら使わない

ヘッドセットが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。BLUETOOTH接続ではなく、付属のコードを接続してご使用ください。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告 充電式電池について

- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

本機を廃棄する



機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

Li-ion

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項	
<p>本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。</p> <ol style="list-style-type: none">本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。	
<div><div></div>2.4 FH1</div>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Nマークは、USA及びその他の国における、NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。BLUETOOTHとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

使用上のご注意

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH 無線技術ではおよそ 10 m 程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- 本機のアンテナは、下記の図の点線で示した部分に内蔵されています。接続する BLUETOOTH 機器と本機のアンテナとの間に障害物が入らないようにすることで、BLUETOOTH 通信の感度は向上します。
- 接続する機器のアンテナ部と、本機内蔵アンテナ部分との間に障害物などがある場合、通信距離が短くなります。



- BLUETOOTH 通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
 - 本機とBLUETOOTH機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- BLUETOOTH 機器と無線 LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
 - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。
- BLUETOOTH 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機および BLUETOOTH 機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH 標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。
- BLUETOOTH 通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH 通信時に情報の漏洩が発生しなくても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべての BLUETOOTH 機器との BLUETOOTH 接続を保証するものではありません。
 - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定める BLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

本機を操作できないときは

- 本機をリセットしてください。ピンなどの先の細いものでボタンの感触があるまで押します。機器登録情報は削除されません。



- リセットをしても操作ができないときは、本機を初期化してください。POWER ボタンを 2 秒以上押し続けて本機の電源を切ってから、POWER ボタンと  ボタンを同時に 7 秒以上押し続けます。ランプ（青）が 4 回点滅し、工場出荷時の設定に戻ります。すべての機器登録情報が削除されます。

充電について

- 本機は USB 充電専用です。本機の充電を行うには、USB 端子のあるパソコンまたは USB AC アダプター AC-UD20（別売）が必要です。
- 充電中は BLUETOOTH 接続での使用はできません。

静電気に関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にビリビリと痛みを感じる場合があります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や停車中の車内などには置かないでください。故障の原因となります。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- 本機は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などでの使用
 - 水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - 汗をかく状況での使用
 - 濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。
- イヤークリップは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

主な仕様

概要		
通信方式	ワイヤレスステレオヘッドセット	USB充電のパソコン推奨環境
BLUETOOTH標準規格Ver. 3.0	電源	以下OSが標準インストールされており、USB端子が標準装備されたパソコン <ul style="list-style-type: none">下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。 日本語版標準インストールのみ。 自作パソコンは動作保証対象外です。
出力	DC 3.6 V：内蔵充電式リチウムイオン電池	—Windows®をお使いの場合 <div>Windows® 8 / Windows® 8 Pro</div> <div>Windows® 7 <div>Starter / Home Premium / Professional / Ultimate</div> </div> <div>Windows Vista®（SP2以降） <div>Home Basic / Home Premium / Business / Ultimate</div> </div> <div>Windows® XP（SP3以降） <div>Home Edition / Professional / Media Center Edition 2004 / Media Center Edition 2005</div> </div>
最大通信距離	質量	—Macintoshをお使いの場合 <div>Mac OS X(バージョン10.3以降)</div>
見通し距離約10 m ¹⁾	約 297 g	MicrosoftおよびWindows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
使用周波数帯域	許容動作温度	Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
2.4 GHz 帯(2.4000 GHz – 2.4835 GHz)	0℃～40℃	本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
変調方式	電池持続時間	
FHSS	連続通信時間：約30時間（音楽再生含む） <p>待ちうけ時間：最大200時間</p>	
対応BLUETOOTHプロファイル²⁾	充電時間	
A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）、HFP（Hands-free Profile）、HSP（Headset Profile）	約6時間 <p>（充電2時間で、約15時間の連続通信ができます。）</p>	
対応コーデック³⁾	充電温度	
SBC ⁴⁾ 、AAC ⁵⁾ 、aptX ⁶⁾	5℃～35℃	
対応コンテンツ保護	レシーバー部	
SCMS-T方式	型式	
伝送帯域(A2DP)	密閉ダイナミック型	
20 Hz - 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)	ドライバーユニット	
MDR-1RBТ MK2 の同梱物	40 mm	
ワイヤレスステレオヘッドセット	再生周波数帯域	
MDR-1RBТ (1)	4 Hz – 80 kHz（有線接続時）	
マイクロUSBケーブル(約50 cm)(1)	最大入力	
接続コード(約1.5 m)(1)	1500 mW（有線接続時）	
チャリングポーチ(1)	インピーダンス	
リファレンスガイド(本書)(1)	24 Ω (1 kHz)（有線接続時）	
クイックスタートガイド(1)	音圧感度	
その他印刷物一式	102 dB/mW（有線接続時）	
推奨アクセサリ	マイク部	
USB ACアダプター：AC-UD20（別売）	型式	
	エレクトレットコンデンサー型	
	指向特性	
	全指向性	
	有効周波数帯域	
	100 Hz – 4,000 Hz	

- 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

- BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

- 音声圧縮変換方式のこと

- Subband Codecの略

- Advanced Audio Codingの略

- aptX®およびaptXロゴはCSR社の登録商標です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書とヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

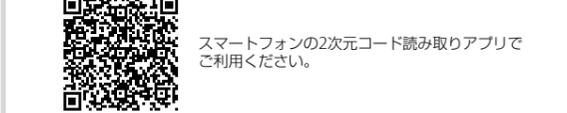
保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには
→ パソコン、スマートフォンから
http://www.sony.jp/support/headphone/
2次元コード



スマートフォンの2次元コード読み取りアプリでご利用ください。

電話・FAX でのお問い合わせは
→ ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)

- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：

- 型名：MDR-1RBТ MK2
- 製造(シリアル)番号：本体のラベルに記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

製品登録のおすすめ	
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。	
スマートフォン、パソコンから http://www.sony.co.jp/avp-regi/	
スマートフォン、携帯電話から http://reg.msc.m.sony.jp/avp/	
	2次元コード読み取り機能でご利用ください。
製品登録についてのお問い合わせ	
ソニーマーケティング（株） My Sony Club お客様窓口	
フリーダイヤル 0120-735-106	
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-5129	
受付時間：月～金 9:00～18:00、土日祝 9:00～17:00	

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。	http://www.sony.jp/support/
使い方	フリーダイヤル…………… 0120-333-020
相談窓口	携帯電話・PHS 一部のIP電話： 0466-31-2511
修理	フリーダイヤル…………… 0120-222-330
相談窓口	携帯電話・PHS 一部のIP電話： 0466-31-2531
<small>※電話説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</small>	
FAX（共通）0120-333-389	ソニー株式会社
	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。